

新年のご挨拶

豊かな福祉社会の実現に向けて

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 会長 長山 洋



新年おめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたこと存じます。心よりお喜び申し上げます。

さて、東日本大震災から9度目の新年を迎えました。被災した方々の多くは、災害公営住宅への入居、高台造成地での住宅再建など、新しい環境での歩みを進めています。しかしながら、新たな環境での住民同士の関係づくりや生活のしづらさへの

対応、高齢化や家族関係の変化による新たな課題への対応など、複雑で多様な生活課題を抱える方々も多く、公的支援とともに住民同士が支え合う地域づくりに、一層努めていく必要があります。

昨年も、台風第19号災害を始め、多くの災害が日本各地を襲いました。常に新たな災害に備える必要があります。本年においても、災害ボランティアの支援体制づくりや災害派遣福祉チームの組成を始め、被災者に寄り添う生活支援相談などの福祉支援に取り組んでいきたいと考えております。

また、少子・高齢社会、人口減少社会が到来し、社会福祉事業に多くの役割が期待されています。福祉サービスの支える働き手の確保が喫緊の課題となっており、福祉人材セクターなどの事業を通じ、事業者における処遇改善やキャリアアップの取組を支援し、働きやすく、働きがいを感じられる福祉の職場づくりに努めていきたいと思っております。

国においては、全世代型社会保障を目指す取組として、子ども・子育て支援制度の創設や働き方改革、地域共生社会への取組など、幅広い制度の見直しを進めています。同時に私たちは、真に支援を必要としている方々の安心・安全が、今日の福祉制度で十分であるのかを改めて顧みることも肝要であります。

地域社会に目を向けますと、「制度の狭間」や「社会的孤立」、「生活困窮」といった課題が依然として存在しています。この複雑で多様な課題に取り組むためには、行政、社会福祉法人、社会福祉協議会はもとより、民生委員・児童委員、社会福祉団体、NPO、ボランティア、そして地域貢献に取り組む企業等による協働連携を深めるとともに、共助の基盤となる住民主体の支え合いを支援していかなければなりません。

このような状況を踏まえ、本年も、関係機関・団体の皆様と共に手を携え、本会の基本理念である「豊かな福祉社会の実現」に向けて、各種の事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全国社会福祉大会開催

令和元年度全国社会福祉大会が、11月22日にメルパルクホール（東京都）で開催され、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった本県の36名、6団体が表彰されました。

表彰内訳

厚生労働大臣表彰……………14名4団体
全国社会福祉協議会会長表彰…20名1団体
中央共同募金会会長表彰……………2名1団体

式典後は、「洪沢栄一と養育院（洪沢栄一が取り組んだ社会福祉活動）」と題し、東京都健康長寿医療センター 顧問・研究所協力研究員 稲松孝思氏による記念講演が行われました。

